

創立八十周年特集号

兵庫県立津名高等学校

同窓会阪神支部報

母校創立八十周年を祝おう

支部長 本田 卓平
(高六回生)

燦然たる母校、悠々たる流光八十周年、皆様にはご健勝のことと慶び申し上げます。

母校は、嗚呼の声をあげて以来八十周年を前に、今年十月二十九日（日曜日）には創立八十周年式典が挙行されることになりました。皆様とともに祝賀したいと思っております。

母校の草創期を点描しますと、洋行の夏目漱石らは、マルセイユから先を競ってフランス革命100周年（パリ万博）記念モニュメント・エッフェル塔へ駆けのぼってヨーロッパ文明社会を鳥瞰し、逗留しては、ある者は大衆社会状況下で自我を解放できず、またある者は碧眼金髪のアリマンダンサーと恋愛を映かせ、帰朝後は健筆を競ってのヨーロッパ文明の輸入時代でした。その時代の淡路島の先覚者が自ら、平等、博愛の旗を掲げ、日露戦争、ヨーロッパ文学等の影響下で、カチューシャや、アンナよ、と女性の地位向上、大正デモクラシーの快談を叫びつつ母校を創立したにちがひありません。他校とともに一斉スタートを切

り、素晴らしい歴史を刻んでまいりましたが、同窓会館建築等では他校に遅れをとっております。例えば高岡同窓会では、近年二億数千円を集めて二棟目の同窓会館を建築し、教育の用に供しております。高岡教育のため同窓会館が必要であるからこそ、当時の高岡卒業生の同校校長が二五〇万円、同校卒業生の同校教頭が五〇万円も大金を同窓会へ寄付してあります。未だ同窓会館建築準備できていないわかれ津名高同窓生は、創立八十周年の今年こそは文化祭、八十周年記念式典には、せめて一度は母校を訪ねて存生諸君を激励しよう。昨年度生徒会長からの別稿の礼状にもありますとおり、われわれの母校訪問は、在学生の励みにもなるのであります。そして帰途には花博で世界の万花を鑑賞しよう。

昨年の当支部は、母校の文化祭開催日に、二回目の母校訪問に実行しました。母校では、在学生創作の万羽鶴のブリッジが、一朵の雲き陽光を受けて、蒼天にブリッジ象徴の如く輝いて、在学生の姿でギター・マンドリン等の快調は体育館にこだまして歴史のわれわれを歓迎してくれました。帰途は、五色町の大海運業者高田屋嘉兵衛記念館に立寄りました。高田屋嘉兵衛は、ナポレオン・ボナパルトが共和制を快くしてロシアへ侵攻した時期に、幕府の密命で、ロシアと戦って千島列島に先鞭をつけた人でもありました。

また七月には、神戸国際会館で、恩師瀬野先生に戦後の母校の叙情詩を朗々と語って頂き、民謡舞踊を「垂聴して頂いて、静御前の再来かとおぼしき淡路島からの数名の華麗舞姫の舞姫に伍して、心躍り手足舞う楽しんで一日を過ごしました。

今年は、総会開催年でもありますが、八十周年式典の前祝として、恩師にもご臨席頂き、活気のあふれる総会にしたいと思っております。仕事にはイデオロギーを、母校・同窓会にはアイデンティティーを抱いて、列頭の友よ、明眸の友よ、とお誘い合せのうえ、大勢でご参加下さいますようお願い申し上げます。

また当支部の年会費が二〇〇〇円になつておりますので、会員が年

第5号
発行所
神戸市中央区多聞通2-1-7
法友会館3F
本田法律事務所内
津名高校同窓会阪神支部
TEL (078) 351-6721
FAX (078) 351-6705

創立八十周年を迎えるにあたって

校長
大住 昌義

陽光が肌に心地よい頃となりましたが、阪神支部の皆様には益々ご健勝にてご活躍のことと存じます。日頃は母校発展のためご支援ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、西暦二千年の節目に本校が創立八十周年を迎えられますことを皆様とともに慶びたいと存じます。この記念行事を実施するに当たり、十年十一月に学校・同窓会・PTAで構成する企画準備委員会を設け、取組を進めてまいりました。そのうち記念行事は十二

さらなる発展を目ざして

同窓会長
小久保 正雄
(高四回生)

阪神地区同窓生の皆さんがご健勝ですか。平素は津名高OB・OGとして活発な交流の中で同窓会活動を盛んに展開していただき誠にありがとうございます。

島内各支部の活動も、せめて阪神の半分の賑やかさがあつてくれたらなあ、と思わずため息が出ます。ところで、西暦二〇〇〇年という節目の年、即ち本年の十月二十九日、

年十月二十九日（日）に本校体育館で開催することと決定しております。記念誌、アトラクション等は部門毎に最後の詰めをしているところであり、生徒を含め関係者一同皆様のご来校をお待ちしております。この式典を盛り上げるためにも、皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

校舎の移転改築については、県財政の厳しい折ですが八十周年にんとかめどをつけたと再三県教育委員会へお願いしているところであり、そのうち記念行事は十二

の程をお願い申し上げます。また式典当日は卒業生としてぜひ母校を訪ねて下さい。

なお、八十周年式典は移転した新しい校舎で執り行いたい、とのことでは県教育委員会ともいろいろ交渉してまいりましたが、算化は見送られていまふ。従って今年には旧校舎での八十周年式典となりますが、なお引きつづき早期の校舎移転新築への努力はつづけてまいりたいと、と考えています。

今後の成り行きについては、さまざまな機会にお伝えしていきたいと思っておりますので、引きつづき皆さんのご支援をお願い致します。

皆さん方のご健康とご活躍をお祈りしつつ私のこはいさつと致します。

母校訪問ご案内

創立80周年の母校が引き、恩師が招く！
お友達お誘い合せのうえ、大勢の参加を乞う！
母校文化祭を見学し、昔日回顧して、楽しい一日を過ごしましょう！

- 1、集合日時 平成24年5月21日（日）午前8時45分
(時間厳守)
- 2、集合場所 湊川（楠公）神社前（JR神戸駅北約200m）
- 3、参加費 5,000円（昼食付）
- 4、参加申込 申込ハガキで5月15日まで
- 5、帰途 花博又は他の観光地見学（実費別途負担）

津名高等学校同窓会

本部・阪神支部総会・懇親会ご案内
(在学生によるギター・マンドリン演奏)

日時 平成24年8月27日（日）午前11時～
場所 神戸国際会館9階（そごう百貨店南隣）
(東側エレベーターをご利用下さい)
総会、懇親会（恩師との歓談その他）
(懇親会場は眺望のよい西村屋ダイニング)
参加費 9,000円
参加申込 申込ハガキで8月10日まで

す。皆様のバックアップをお願い申し上げます。

ところで、二十世紀は私たちに多くの恩恵を与えましたが、負の遺産も残りました。今の一部の若者のように負の部分を凝縮の姿を見るのは私だけではないと思います。生徒が自分の生き方を見詰め直し、あまりにも自己中心的なのを考え方ではないと思います。このような状況を視野に入れ、教育方針を「豊かな人間性と柔軟な発想を身につけた心身ともに逞しい人間の育成」としました。

二十一年度取組と活動の一端を紹介します。学習面では、二期制が三ヶ月を経過し、習熟度別学習、夏季休業中の図書館開放と合わせて効果をあげつつあります。新規事業では、シンガポールへの海外修学旅行、学校のホームページ開設による情報の発信、コンピュータの校内LANの整備等先進的な取組を行っています。生徒の活動の主なものとしましては、

二十一世紀は多様性と関係性の時代だと言われております。生徒達が学校で学んだことを生かしながら、皆様と同じように切り拓いてくれると信じています。どうか仲間として育ててやってください。

最後になりましたが、皆様のご多幸と支部活動の一層の充実、発展をご祈念申し上げます。

吉田石油株式会社 代表取締役 社長 吉田 昌美 〒250 兵庫県津名郡淡路町若屋一四一四番地 TEL 〇七九一七二一三 FAX 〇七九一七二一四	宅地分譲 株式会社 共同物産 代表取締役 仁 泉 博明 兵庫県津名郡津名町志賀三二一八一 TEL 〇七九一六二二一五 FAX 〇七九一六二二二五	ミツ精機株式会社 代表取締役 三 津 啓祐 (高三回生)	建設主幹工事 空間衛生機械工器具販売 株式会社 津田 代表取締役 津田 豊 (高二十五回生) 兵庫県津名郡津名町志賀三二一八一 TEL 〇七九一六二二一五 FAX 〇七九一六二二二五	兵庫県学校厚生会 指定 ダイワハウス(株)淡路店 担当 守 本 幸一郎 〒250 津本市上内二二二一五 TEL 〇七九二二二二二二 FAX 〇七九二二二二二二
---	---	---	--	--

(生徒会会長)

多額のご寄付を頂きまして誠にありがとうございます。頂いた寄付金は、津名高校がもっと素晴らしい学校になるように、有意義に使わせていただきたいと考えております。

来年は津名高校も創立80周年を迎えることになります。記念の年に花を添えられるような素晴らしい津名高祭・文化祭を実施したいと思いをこめて、阪神支部の皆様も都合をつけて、是非またお

平成11年6月25日

岩崎敦美

大西堯哉

私が津名高等学校へ赴任したのは、昭和二十五年度の四月だった。そして、それから四年間の津名高等学校での生活は、高校に入学しては生徒が高校生生活を送る一年間と同じか似たようなものであったような気がする。記しに不適当で、都合によって正確に忘れるといった面もあるのだろうか、津名高校での生活は教員という職業に就いては事をしなたいというより、楽しいキヤンペーンをするような、そんな時の繁りの中にいたような思いで振

り返ることができる。どうしたわけか、授業のことや生活指導というような教育に関わる問題よりも断片的に、そして極めて片断的に、ティニコートで石拾いをしていたこと、合唱、水泳、水泳、文化祭、修学旅行、日曜日休みの日に、生徒達とリクニクなどについて出かけたこと、クニクなど、が鮮明に思い出さる。四年間そんなことばかりはいたわけではな

いはずだに、多分卒業生の諸君が高校生生活から思い出すとき心浮かんでくるようなあり方と

植松剛

お名高校創立一百周年
おめでとうございませう。
懐かしい阪神支部会員の
皆さんいかがお過ごしで
か。さあ、お伺い申し上げま
す。

今年は西暦紀元が、切
りの良い年に当たるので
暦の話題をいくつご紹介
します。

1 今年には四百年に一回
しかない「西暦」四年に
回だが、「百で割れて、
四で割れない」年は閏年か
四で割れない、四年間に一
回くるので、四百周年にあ
たる閏年で除かれる。金
さん・銀さんは閏年が除
かれた千九百周年置かれ
た二千年を経ているので
ある。

2 庚辰（こうしん）・カ
ノエタツ（カウシ）
十干（甲乙丙丁戊己庚辛壬癸）は日のはじめの数詞で、今の曜日に当たら
ない、癸はイブで、爰は
九で三×三の陽の極数

高野隆

津名高新聞の卒業生号に
 原稿を依頼し、その
 年毎に生徒への思いを綴
 ったものを阪神支部の皆
 さんへ原稿にかえさ
 ていただきました。年々受
 験科目を減らしてゆく大
 学入試、大学生の学力低
 下、大学の行政法人化、就
 職難、リストラなど複雑な
 社会情勢が、大きく羽
 を広げて欲しいとの思い
 を込めて饒の言葉です
 ☆(日12・2) 人は自ら
 が育てる
 ご卒業おめでとう。皆
 さんは、長い人生の一つ
 の関門を、今、通過した
 ところでです。まだまだ、
 学ぶべき事はたくさんあ
 ります。職場につく
 にはその仕事を成し遂げ

幅広い知識を身につけ
 ゆくことの大切さに気付
 くことしょう。
 また、基礎的な力を養い
 幅広い視野で思考するこ
 と幅広いすらしも知るこ
 しょう。短期間で成果を
 上げる人、長期間かか
 りやつと成果がでる人
 さまざまです。焦らず辛
 実に歩んでくれることを
 願っています。今よりも
 りも大きな人間に成長し
 するために、努力を惜ま
 ず、強い心を育てて欲
 いと思う。知識は「動産
 よりも価値ある財産」で
 することもあります。そ
 上に、人を思いやり、礼
 節をわきまなど人間にな
 ることを願っています。
 桃李も一言ずと下

轉入

教頭	大 鹿	(添路首)
教諭	富田 二三	(添路首)
教諭	坂根 豊和	(添路首)
教諭	山端 陽子	(三原高校)
教諭	長尾 順子	(新任)
常勤講師	井高 聡	
常勤講師	北野 素子	(素子高)
非常勤講師	前田 洋亘	
非常勤講師	中田 善文	
非常勤講師	真 真	
非常勤講師	江尻 早春	
非常勤講師	加藤 悦子	
非常勤講師	久保 篤子	
非常勤講師	奈木 宏昌	
非常勤講師	南岳 克史	
事務主査	上田 絹子	
教務員	小倉 一行	

津名郡津名町志筑二八三一〇二二〇
 〇七九九一六二一〇二二〇

登記全般・各種官公庁申請手続

津名郡津名町志筑 一三九二—
岡野ビル二階
FTEL 〇七九九—六二一五八二九
TAXL 〇七九九—六二一五八二九

公認会計士 馬詰政美
税理士

津名郡津名町志筑一三九二一
岡野ビル二階
F T 七九六二一四七五
A E 七九六二一四七五
X L 七九六二一四七五
O 七九六二一四七五

中国名菜酒家

神戸市兵庫区羽坂通三丁目一三
FTEL (〇七八) 五二一三三六〇

淡路島公共の宿
津名ハイツ

兵庫 津名郡津名町志筑 一六二
電話(〇七九九)六二一一五六一
ファクス(〇七九九)六二一一五六二

宝と花琳

代表取締役 福永稔
(高八回生)
本社 65611521 兵庫県津名郡一宮町多賀一255-1
TEL 0799(八五)130(一代) FAX 0799(八五)236

西宮スポーツ姉妹都市協会副会長
筆谷正
(高三回生)

(司法書士・行政書士・社会保険労務士)
〒663-8112 西宮市甲子園口北町二二-一一

大切な人のもしものときに
(株)片山葬祭
 兵庫県津名郡北淡町黒谷一四八二番地

電話(〇七九九)八四一八
FAX(〇七九九)八四一一

代表取締役 藪田好一
(高五回生)

〒656-0001 洲本市桑間二一九五-1
電話(〇七九九)二四一三一〇六

徒然に思うこと



津名高校教諭
出口庸介

「はてさてどうして当方（この会）の思い、概括すれば、
駅伝のむずかばかりの戦績が目にまつたところらしい。『タイトルは自由です』が、締め切りとともに、苦しい。2月26日、早く書かねば。」

会報原稿の依頼から伝統あ版神支部から依頼あ版神支部から

れらの精神の風をなくした結果、日本の古き良き秩序や、校風が崩れ去っていき、今がしてならない。

知り合いの会社員が、あきれ顔で「最近の若い連中、それはやめるやめる、それはやめるやめる、その彼らたるや、有名大学を出て、有名企

峽大橋の開通で神戸の二
ニバー競技場までのエ
時間余りが、40分になっ
た。代わりしに、旅の風情
ゆつたりとした時間を失っ
た。環境破壊を含め、
便利さの対価に無くない
ものは大きい。また、イ
ンターネットで座ったま
ま情報が取れ、図書館に
足を運ぶ必要もなくなった
。音響機器もリモコン
操作で座ったまま、都合
が悪くなればリセットボ
タンとある。ここで
も、待つことや耐える習
慣を、失いつける。雨
が学校界隈に父兄の送迎車
がずらり、車社会だから
、バス代が高いからだだけ
で、片づけられないものが
を感じる。法律や校則にも
は違反しないけれど、こ

業に勉強したい得意分野
では強かったのだろう。エ
が、仕事として効能和苦
手分野では我慢が効かない
のだと、会社社員としての
のなさ、それに拍車を
かけたと断言だ。

一つの部分で厳しくと
も、他の部分でそれが溶
解されていくのは事実実
だ。物質文明に犯され
バブルに踊ったつければ
経済界でもはしゃぎ、若
者の心も蝕んでしまふ、
。我慢、忍耐、今時
使うのが恥かくなると
うな言ふだが、教育のよ
うで、機会をたらえて
教えた実践させていく必要
がある。老骨にむち打ち
さて歩まねば。

青春の泉が湧く、津名高校

友の結婚式の日も濃霧が
 播達連絡船が久帆し出
 席できなした浪路局。
 母の卧報に接しても海が
 荒れ、すくにかつて海が
 ことができず涙を流した
 浪路局。距離感があたた
 島に「夢の架橋」が完成
 し、関西の通勤に入っ
 た。

瓦は走り、曲り角の家
 ざりを走り、2枚当てられ
 いた様子だった。生徒

私が津名高校に着任し
 たのは昭和36年4月だっ
 た。国道28号線にわた
 る、道道舗装されて
 は無く、バスは軒先ざり
 ぎりを走り、曲り角の家

徳田泰治

昭和ひとけた
一桁生まれの教師H



日野秀夫

昭和五年生まれの私は、私の四で七才になる。勤勞務であつた津名高校には、お友だちといふことは、お友達といふこととは違ひないといふこと

私が小学一年の時に始まつた戦争は、中学三年の時迄に終つたので、學校時代の前半の八年間が戦後の混亂期とそれに前後した時期で、まさに荒れ狂つてゐる間に、波乱万丈の十六年を向へてきたのである。

前前は徹底した軍国主義の教育であり、後者は百八度反転し、民主主義の教育で、疑う事を知らなかつた。ところが、この時、適て正反對になつたのである。

勉強するといふ点では學校は優秀であつたが私には劣等であつたので、特に中学校で授業はさつちのけで厭事をするのを自分、國のため、軍事訓練を受けるに身につけて死ぬかと思つた。それ以外に敗戦のショックは大きく、絶対に許さずと信ぜさせられて純真無垢な少年には、其の切なりなる直覺は、何かから立ち要る。しかしかも戦後のひと

品物の大部分は自転車通
りであり、約１時間以上
かかるのもめずらしいな
る。冬の北海道の寒さ節
風が特に西の海岸で強く
吹くので冬に多くのエネ
ルギーを必要とした。

高校卒業後の進路も業
界にも少なく、卒業した
同業者と就職のため島

食糧には若者の労力を
ながきたられ、夢
生まれ、人生が楽しく
なると、学生諸君との
なかで、情熱もやや
な。私、青春は津名高
で始まった。純然、き
らきら輝く目のひかり
本心から語りかけてく
人生に対する疑問につ
ての迫力。毎日毎日子

たたりとした海と沖を行
立
7月3日アルジェリアの
8月12日 堀江謙一、口
身は充実に、ロマ

要としていた。私の家は農家だったので、学校（旧制津田中学）から自転車で行って帰る。帰る途中で、農作業をさせられる事が多かった。大学時代も休みになると、飛んで帰って食糧増産に励んでいた。

私は落着いて勉強した記憶はない。学力の向上に立ったのだから大変であったに勉強が強かったが、学んだ事が素直に頭に入らず、空白は簡単に埋め切れず、今思っても汗ものである。

しかし、安月給のために希望者の少なからぬ教師となり、貧しく耐えて、「忍」の字を motto に、困難な時の教育を支えたのはまじしく私たちである。そして私たちに自己満足しているのである。

太平洋横断
 8月24日 三宅島大噴火
 10月22日 キューバ封鎖
 この年中ソ 論争表面化
 東京でスモッグ続発問題
 化
 1963年 この年「い
 んにちは赤ちゃん」流行
 1964年 東海道新幹
 線開通、オリンピック東
 京大会のテレビを体育館

（感想）
 青年よ！
 君は素晴らしい。
 君には夢がある。
 君はかかたに広がる大
 海原のように、高くそそ
 り立つように、雄大で崇
 高な夢がある。
 君はその夢をつかまえよ
 うと、幾度もおぼれかか
 り、いく度、絶壁から足を
 ふみはずしうになつた。
 その度には君は齒をくいし
 ばり度張つた。
 塩カライ水を口一杯に飲
 みながらも泳いだ。

『わたしの津名高校時代』



藤田
(旧・岩
大山)夫

高校や大学といった学生時代というのは、思いの強い回答を寄せてくれた。

出深い時代であり、たった三年や四年の短い期間なのに、利害を超えた人々とのほだかの付き合いがあり、日々新しい経験があり、それによって自分の成長が確認できる、生涯における深い時代なのである。

昭和34年5月から38年7月までの四年三か月（「わたしの著名高校時代」）は、まさに津名高校時代と同じであった。

典型的なデモシカ教師としていたわたしを、教師として一人前に仕立てあげてくれたのは、津高の生徒であり、先生

さらに新しい経験はソフト部の顧問になったことである。中学校3年生のとき助腕を患い、学生時代ずっと激しい運動が禁じられていたわたしにとって、運動部の経験、皆無で運動能力も鍛えられないまま成人してしまうので、ノックをしても振りばかりの時間が長った。しかし、四週間休みのほとんど毎日暑い熱のグラウンドで過したことが、在職中県下準優勝を三回も経験できたこと、すばらしい体験など、それらであった。恵まれたのであった。さらに同時に演劇部の顧問

も経験した。初夏・秋
早春と年三回の校内発表
に二年半ばかりつたが
ここでは演出は会ったが
つたので、大道具・照明
器具の製作でたの役
器具のつた。ただ、関連
昭和38年の送別会で徳
先生演出、親父・大西
生、息子・わたし、小
引き・藤本先生で、中
内薫の「息子」を上演
で喝采をうけた思い出

校務分掌は生徒指導課
が多かった。生徒会係
も、昭和35年、若井生
徒会長が島内の生徒
の交流会をやるのと各
校に開催の案内を出した
ことがある。もちろん賛成
の提案にわたしたし賛成
で発送したのだが、す
に洲本高校から問い合わせ
がきて、わたしたちは田
教頭から厳いお叱りくだ
うけた。ときあたかも昭
35年安保の年、高校教育
政治的中立が特に強調
される時期になっていた。

である。結局、今回はわたしの顔をたて開催を認めてやるということだったが、わたしは学生気分そのままだということを思い知ったのである。

担任としては、心ならずも中途半端に終わっただ。一年目は実質5月採用だったから1年の学年所属。二科目学生主任の

仲野先生は、わたしを担任にさせるために、四クルスの生徒をホムムラスの五つに割ってわたしをC組の担任にしてくださいとはいえないで、三年目当然わたしは3年の担任を希望して、が、組合の支部役員に選出され内規によってクルス担任は持てなかった。四月目、1年1組の担任になった。学年もよかつたし、クルスもよかつた。積極的にホムムラス活動や諸行事に取組ん

にもかかわらず、この
15回生が2年のとき1学
期が終わった時点で、わ
たしの専門教科中心の県
神戸商へ転動すること
になった。神戸は4月に
入席をあけて待っていて
くれたのに、後任が見つ
からないからと引き延ば
され、異例の時期の異動
となり、よけいご関係者

振り返ると、34年同時に赴任した田居先生前年からはから居らした宇城先生は既に同年配の字が相前後してたくさん転動して来られて、学校も伸び盛りと先生も伸び盛りとつった活気ある雰囲気につつまれ、楽しい思ひ出いっぱい「わたしの津名高時代」であった。

立花和也(高五司)

〒654-0071 神戸市須磨区須磨寺三丁目六番一二号
電話・FAX ○七八ー七三一一三二四
ワンルームマンション
メゾン立花 姫路市宮上町二丁目四八

藪野千栄子

〒662-0881 西宮市上ヶ原七番町一―三―三〇二
TEL 〇七九八―五三一―一六九二

金青馬
(高六回生)

〒651-2242 神戸市西区并吹台東町二―一―二―三一六
TEL 〇七八―九九七―〇四五六

(高六回)

西宮市「なごみ」センター
電話 〇七九八一五二二一
一四八二

神戸市長田区高取山町

石上修

TEL 〇七八一八四二一〇八

浜野圭市(高木圭市)

五三一四七四一二

護士 本 田 卓 禾
(高六回生)

1950年

代表取締役 志智正光
(高六回生)

赴任当初の想い出

藤本 晃

昔、私の高校時代の恩師から「おい藤本よ今勤勞している学校を母校とやらあ」に言われ後で街灯の下で本を読んでいた生徒や、家の作業場にミカン箱を持ち込み手伝いの傍ら猛勉強をした生徒のことが話題になっていた。「私の光・窓の雪」のフリーズがまだ死語になっていた。いつか来た時代だった。

当時日本の経済はすでに高度成長期に入っていたが、私が担任したある生徒の親はこう云った「先生、うちの娘は本好きで困っている。女の子に学問は要らん。いい嫁に生かすならへんから」。それでもその生徒の目は生き生きと輝いていたのが印象的だった。あれから四十年に近しい月日が流れたが、今も私の心には当時の思い出が鮮やかに蘇ってくる。それは津名高校が私にとって母校であり証左にはかならない。今秋、創立八十周年を迎える。津名高のさらなる発展を願ってやまない。

八十周年おめでとう

和田 史都子

津名高校同窓会阪神支部の皆さんお元気ですか。今年で西暦〇〇〇〇年、津名高創立八十周年と重なり、おめでとうございます。私も教壇を去ってから、早や十八年になります。

佳きかな同級生

竹松 定雄 弘子 (高三回生)



卒業生の法事にお願いした夫(竹松定雄、元教師 地理歴史 昭和二五・一、津名高在職)から「お前の同級生が病気が多い」と聞き、何とか元気になってほしいと願う友が「一さん」を励ます会が生れた。集うことに人数もふえその都度卒業後久しく逢って

いかなかった同級生も参加してくれるようになり、同窓会のようにきやうかになった。病気の友の明るい笑顔と、闘病のリハビリに作る「押し絵」の作品等を頂き、励ます会が励まし、竹松に加え高野実先生(生物)も出席して下さるようになって、この集いは十二回として次回を心待ちにしていたが、

その頃、竹松が三十八年の教員生活を終えたので、京都を歩く会ができた。杜寺、史跡、町並みと竹松の説明を聞きながら同級生と巡る楽しさ、五十年前の生徒にかえり喜ぶとして歩いたもの。この宝篋印塔の名前おぼえと、老後の現象が何度聞いても頭に留まらず、竹松の後をついてどこへ行くのか路地を抜けるとちやんと目的地に近づいたり、高野先生も時折参加、道端の植

今一番問題になっているのは、校舎の移転改築と聞いている。阪神淡路大震災で大変な風景でした。以来三十四年、といいますが八十年の約半分を津名高校と共にくるきてきたことになり、感無量の気持ち一杯です。小さな女学校から高等学校へ、その規模も次第に大きくなり、校舎も増改築され、今では名実共に立派な成長を遂げたことは何よりも嬉しいことです。時々校門の前を通って「校舎も随分古くなったなあ」最近の津名高生は「等、私の母校は広島ですが、何かにつけて気にかかります。多数の同窓生の方々が各地で、ご活躍されていることは、まことに頼もしい限りです。



本部事務局だより

この会も竹松の病気で物々も新しい発見があり、昔の乙女目ばかりやいて、六十回も歩かずに済んだ。同級生とは不思議な関係だ。昨日逢った友も何十年ぶりに逢った友も、同じ存在感で会話がはずみ、ほのぼのとした心なごみ、安心感がわく、優しいたわわり合える、また逢いたくありません。こんな同級生とのつながりを長く続かせてくれた夫に感謝一杯である。

同窓会阪神支部会員の皆様には、益々ご健勝、ご活躍の事とお喜び申し上げます。さて、同窓会の活動につきましては、日頃よりの会報等でご存じかと思いますが、今回は平成十二年の学校行事予定にきまして、日程ならびに簡単な内容等を紹介致します。よろしくご高覧、ご協力をお願い申し上げます。(若干の変更もありませう)

平成十二年 行事予定
四月十日(月) 入学式・着任式・始業式
下旬 観摩会
五月二十日(日) 学校祭(生徒祭)
五月二十一日(土) 学校祭(文化祭)
九月二十日(日) 学校祭(体育祭)
九月二十一日(日) 創立八十周年記念式典
十二月十三日(水) 修学旅行
下旬 クロスカントリ

二月下旬 卒業式
ふるさと縦断強歩大会
二月下旬 卒業式
ふるさと縦断強歩大会

観摩会は、昭和二十九年に、地域の人々との交流を目的に始められ、藤の花のもとで本校、茶道部の皆さんに生徒、職員、保護者、地域の人が集う伝統行事にすつかり定着してきています。

※学校祭
本校は前後祭・生徒祭・文化祭・体育祭と連続して学校祭として伝統的に行われてきましたが、平成九年の第五十回学校祭より、二学期制(前期・後期)が導入された関係で文化祭・生徒祭と体育祭に分割実施され現在に至っています。形態は大きく変わりましたが、特に体育祭においては、以前にも増して地域や保護者の方々の参加もあり、雰囲気を感じ上げる大きな力になっています。

※創立記念講演
本校の創立記念日は十月十二日です。平成七年度より、その記念日の前後を各々で各方面で活躍されている先輩を招き、後援者に講演等をして頂いております。

一九九五年(平成七年度)

「本校の沿革」本校職員
一九九六年(平成八年度) 翼 靖弘氏(三期生)
コンサート 宮本康代氏(二期生)
一九九七年(平成九年度) 松波三直子氏(二期生)
「後輩達への私の願い」郷土史家 濱岡きみ子氏(志氣高女四回生)
一九九八年(平成十年度) 「私の原点」日産自動車野球部監督 村上忠則氏(二期生)
一九九九年(平成十一年度) 「持続的な発展を実現するための工学の果たす役割」大学における機械工学の教育・研究を通じてのこと

神戸大学教授 工学博士 富田佳宏氏(二期生)
※ふるさと縦断強歩大会
①耐寒訓練行事とする②郷土の自然を愛する③全員参加であることを目的に昭和五十七年三月に第一回が開始されて以来、コースの若干の変更はありますが、本年度は第九回目を迎えることになりました。学校から岩屋まで、そして、次年度は岩屋から学校までと北淡路の尾根を縦断するコース約三キロを、タイムや順位を競うのではなく、助け合って全員が「完歩」を目指し、友情を深める狙いもある本校の中でも最もユニークな、伝統的行事行事になっています。

※修学旅行
昭和五十八年度に本校として初の「スキー研修旅行」が実施され、それ以後、平成九年度まで十五年間、研修旅行として定着してきましたが、平成十一年度より海外旅行が認可になり、早速、海外研修旅行が実施されました。この五年間の修学旅行は左記の通りです。

●平成七年度 スキー研修旅行 里郷方面
●平成八年度 スキー研修・観光旅行 札幌方面
●平成九年度 スキー研修・観光旅行 札幌方面
●平成十年度 シンガポール・マレーシア・インドネシア方面
●平成十一年度 予定

●平成十二年度 予定
平成十一年度卒業生を加え、同窓会員数は一万六千人を数えることとなっております。昨年の文化祭での創立以来のアルバム展示とその時代時代を映し出した津名高生達の姿をご覧になられた方も多いかと思いますが、本校も今年で創立八十周年を迎えます。その記念すべき二千年度、津名高の歴史を刻む、種々の行事が行われます。同窓会の皆様におかれましては、懐かしさを感じられるもの、様子が随分変わったと実感されたもの等、思いも様々でしょう。しかし、今も昔も津名高生の気質は変わらないのです。阪神支部の皆さん、ぜひに発展されるよう同窓会一同見守り育てる一役を担っていききたいものです。阪神支部の皆様もお気軽に母校、津名高校へお越し下さい。後輩たちへのエールをよろしくお願い致します。

高十三回生 巽 靖弘
高十二回生 太田 巖
高十一回生 巽 靖弘

総合食品問屋 大定 江本(相木)元子 (高六回生)
〒650-0001 三原郡南淡町福良甲一三三八
電話 〇九九五五二〇〇七
FAX 〇七九九五二一三三三

松下 勝 (高六回生)
〒650-0003 垂水区舞子台一三二一
電話 〇七八一七八一三三四三五

五色郵便局 元局長 正木 八郎 (高六回生)
〒656-2131 津名郡津名町志第三六八
電話 〇七九六六二二二

保宗 幸夫 (高六回生)
〒656-0000 神戸市垂水区城山五二一五
〇七八七五二一〇五

尾崎 田鶴子 (高六回生)
〒560-0001 摂津市千里丘四一三二七
〇六六三三九一四〇七〇

古土井 和佳子 (高六回生)
〒652-0004 神戸市兵庫区楠谷町三〇一五
〇七八一三四一三〇八

坂東 章好 (高六回生)
〒572-0002 大阪府枚方市村野西町三一八
電話 〇七二〇一四七六九〇四番

学校法人 八代学院
〒655 神戸市垂水区学が丘5-1-1
0004 (本部・大学・高校)
法人部 事務局 岩井 吉人 (高12回生)
本部 (078) 709-7151代
神戸国際大学
経済学部・経済学科(男・女)
都市文化経済学科(男・女)
神戸国際大学 附属高等学校
(普通科)・[国際科](男子)

卒業生からの メッセージ

母校ここにあり



泉 博子
(高女三回生)

阪神支部の皆さまへ
嫌いかでございませうが、今年は二〇〇〇年と記念すべき年となりました。大橋渡れば花の島人と自然のコミュニケーションをテーマに、いよいよ淡路花博の開幕が近づいてまいりました。近年大鳴門橋、阪神淡路大震災、明石海峡大橋（パールブリッジ）の開通、博多と悲喜に亘り私たちがの「郷土淡路島」は島民はもとより国の内外で大

淡路島に 戦闘機が不時着

三津 啓祐
(高三回生)

いやな世相、あまりにもオモロくないので景気の良い話をしてみます。と言ったのが私に大きな金儲けをしたわけでもない、血わき肉躍る大それた話ではないが百億にまつわるといえばまんざらでもない。

我が社の教材に、又地域での防衛に対する思想の普及にも思い展示すでございませう。

校歌を歌って涙して



柴谷 榮一
(高七回卒)

宮城県白石市在。印刷業。母校の80周年おめでとう。新制高校になったばかりの先輩たちが進学した就職とか全て手探りの時代だった事が偲ばれる。自分たちもグラウンドのホームプレート上に一列に並びセンター方面に月が上がつて来る時間に甲子園を夢見て校歌を歌った時代が。今、座敷で、車の中で、風呂場で、声高らかに「母なる海...」を歌う。「開け開け鼓動」のところに来ると涙が出てくる。感極まるのである。

宮城県から淡路を見つめて、猛烈なノスタルジーを感じる気持ちを分かってくれたい。たった一日のゴルフ会のために、飛行機に乗って、出かける機会を。校歌を歌って涙する気持ち。

北米・カナダを旅して



筆谷 正
(高校三回卒)

私が居住する西宮市とアメリカワシントン州のスポケーン市に姉妹都市提携をしている関係で昨夏、親善訪問旅行に参加致しました。訪問団員三名のリーダーとして、十一月五日関西空港を出発ビクトリアを最後に八日間の旅をもって親善の目的を果たし帰国致しました。

訪問先のスポケーン空港は地域の関係者多数の皆さんの大歓迎を受け、地元会員の皆さんの手料理等による心暖まる接待とガイド更には、シオリストステイも経験。地域の住民の人情味の深さを改めて感じて参りました。毎年当地でとり行われ、ライラック祭は、地域あげて終日力強く進捗あるデモンストレーションを展開するもので、アメリカの国民性の象徴の一角をみせられた感じが印象に残りました。

ま・ち・ろ・こ

尾崎 田鶴子
(高六回生)

め、唯一の情報源でもある支部報第五号は、「母校創立八十周年記念特集号」として西暦節目の年にその歩んだ歴史の重みを載せてお届けする事ができ、その喜びは例えようもなく皆さんのご支援のお陰と感謝いたしております。

紙面でご案内の通り、これから本年度の行事も活発になってまいります。が、支部会計でお預かりしている大切な資金を元に行事のの一つ一つに心を込めて行なってまいります。皆さんには何らかの形でご参加下さいますよう、ご輪をより大きく広げて下さいますよう今年度もよろしくお願いいたします。

に誘われた気分分で時間の経つのを忘れ瞬時パラダイスに浸ります。最後にワシントン大学を訪問して、シアトルに別れを告げました。さて母校が今年創立八十周年を迎えることとなり、私共卒業生としても外視した関係者の皆さんに共々喜び、その行事の参加を楽しみにしております。そして更なる発展のため寄与することに努めようではありませんか。

ここに日本庭園を一角に擁し、二〇万坪のチャータガーデンがございます。スケールと中味の充実した雰囲気は夢の国

森多 貴美子 (高六回生) 〒38-0066 大阪府住吉区代東二丁目二十五番五号 FAX 〇六(六)六六二一〇〇三	石原 富子 (高六回生) 〒650-0022 神戸市中央区元町通一丁目一十三番五号 〇七(八)一三三三二一四七八四	坂東 洋治 (高六回生) 〒644-1114 神戸市北区鈴蘭台西五丁目一四番五号 電話 〇七(八)五九三二一四四五二番	郡 益彦 (高六回生) 〒650-0040 加古川市平岡町新築一丁目七五五二番九号 電話 〇七(九)四二二四四七三九八	北淡町工助役 栗田 智之 (高六回生) 〒660-0000 津名郡北淡町室津二丁目一〇五二番 電話 〇七(九)一八四一〇五二五	太田 均 (高六回生) 〒596-0166 大阪府高槻市赤大路町二十九番七号 〇七(二)六二九五一五九一七	高田 一弘 (高六回生) 〇七(八)一七四三三三三三三	津名高校 六回生有志一同	薄木法律事務所 弁護士 薄木 昌信 (高七回生) 事務所 330-0807 大阪府北区西天満四丁目七番七号 電話 大阪 〇六(六)二六二五二二番 FAX 大阪 〇六(六)二六二五二二番
--	--	--	--	--	--	--	----------------------------	---

大阪府淀川区西中島四丁目十二番二号
TEL 06-6163-0051 FAX 06-6163-0054

廣田義二

まず、普段の練習は、平歩が忙しいため土日に集中して約50キロをまわって集めて、月に平均240キロ走っています。内容は自宅から近辺坂道を中心に、ジョギングではなく、タイマーを取っての追い込み練習を重視です。氣候のよい春秋は、月には1回程度のランニングで、須磨から十国展覧会までの、六甲縦走コースへ有馬へ走り、紅葉谷から有馬へ駆け下ります。関西西国めぐりなどの有名な大会はほとんど走っていません。最中にも印象に残っている全日本学生五湖17km、足が吊って苦ししい思いをしました。が、何処から観ても美しい富士山に感動しました。ホノルルでは、沿道で応援してくれるボランティアの人情に感動しました。マラソンの素晴らしい、季節と風を身体で感じられること、人々の心の暖かさを感じることがあります。

す)
平成六年九月十八日
(日) 於 ホテル・シェ
ラニエ支部本部各総会・合
同懇親会開催、出席125名
支部長交代
支部長交代
新 本田卓末 (高6)
前 立花和也 (高5)
平成八年八月十日 (土)
賛助広告3頁、寄稿12名、
発行(4頁)、寄稿12名、
賛助広告1頁、寄稿12名、
岩井吉子・喜田美登里・
小久保淳夫・田中種義
(高12・12・13・13) 六
回生有志
平成八年九月八日 (日)
ホテル・ゴルフリッツ
支部本部各総会・合同懇
親会開催、出席184名
フランク・コッパルが一同を
魅了し、懇親会大盛上る
つた。懇親会大盛上る
(高14・15・19・27)
平成六年九月十八日
(日) 於 ホテル・シェ
ラニエ支部本部各総会・合
同懇親会開催、出席125名
支部長交代
支部長交代
新 本田卓末 (高6)
前 立花和也 (高5)
平成八年八月十日 (土)
賛助広告3頁、寄稿12名、
発行(4頁)、寄稿12名、
賛助広告1頁、寄稿12名、
岩井吉子・喜田美登里・
小久保淳夫・田中種義
(高12・12・13・13) 六
回生有志
平成十年五月二十三日
(土) 支部一行明石海峡
大橋渡り初め母校初訪
問、参加59名(パス2
台)、「凸凹」テーマの文
化祭、新校舎移転予定
地・パリス、新校舎の館
北沢町震災廃島断層を見
学、観光
母校クラブ活動支援金二
十万円贈呈
平成十年七月二十日
(日) 支部増報「第三号」
発行(8頁に増報)、寄
稿22名、賛助広告53名、
編集 近藤甲一・北川咲
子・花野正信・藤・啓啓
発行(8頁)、寄稿24名、
賛助広告62名、
編集 中田晴章・平松
忠・近藤甲一・北川咲
子・花野正信 (高17・
8・14・15・19)
平成十一年五月二十一日
(土) 第二回母校訪問
参加25名、「気球と明石
海峡大橋」テーマ表現の
折鶴鑑賞と大住校長の歡
迎・ギター・ドリル演
奏・文化祭展示品・母校
歴史を繰く写真・年表など
と見学、ユネスコ世界
色・花さじき見物遊覧
母校クラブ活動支援金二
十万円贈呈
平成十一年六月十八日
(金) 於 洲本ゴルフ倶
楽部
事業高岡憲会ゴルフクラ

會員募集中

今初めて企画した、津名高同窓会阪神支部並びにツナグ会・津名高ラッキースケバン会合同のゴルフコンペを平成一年六月一八日（金）に洲本ゴルフ倶楽部で盛大に開催しました。当日の参加者の氏名、卒業年度、上位成績（ダブルベリヤ方式）に、次のとおり敬称略。

立花和也(5)、蔵田好一(5)、新田大二郎(5)、顕谷弘弘(5)、山本隆雄(5)、高岸章雄(5)、植田圭司(5)、瀬戸昌春(5)、江上嘉代子(6)、河野合子(5)、坂東孝好(5)、尾崎田鶴子(6)、橋本猛司(6)

腰渡勝(7)、柴谷栄一(7) 澤木昌信(7)、井上和み子(7)、平松忠(7)、薄木知代(9)、榮生進(10)、門康彦(10)(優待席)、二虎正悦(10)、橋本知住(69) 三名 H D H、四以上二三名。

なお、当日の懇親会の席上において「本会の」名簿を津名高同窓会ゴルフクラブ・阪神支部に限らずクラブ・阪神支部に限らずと称し、年に一回春秋、津名高ゴルフ俱楽部で行う、当分の間平松忠(八回卒)と薄木昌信(七回卒)の名簿を作成話人となり、名簿を作成

津名高校同窓会阪神
念式典が十月二十九日
（日）午後一時三十分
ご利用下さい。
なお、本部の会

ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は、同窓会活動にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。さて、本年は母校が創立八十周年を迎えます。それに伴い創立八十周年記念事業が同窓会、PTA、学校の三者で推進され、創立記

より発行される予定です。同窓会では記念事業を資金面で協力していくことが、昨年十月の理事・常任理事会で承認されました。諸般厳しい折ですが、創立八十周年記念事業基金のこの協力を、お願いしたいと思えます。一口、三千円、但し何口でも結構です。ご送金は同封の振替用紙を

(七月の下旬に発行の予定で、同じお願いを致します。その折折す方に振込みいただいた方には重複することになります)が、ご了承下さい。

最後になりましたが、皆様のご活躍とご発展を心からお祈り申し上げます。

津名高等学校同窓会
会長 小久保 正雄

今、淡路島が華やき
染まつている。「海に
かぶお花畑」「花の宴

「……と自然　潮風に吹かれ実
感等のコピーが賑やか
に踊る。淡路島博が開幕
され、盛況で淡路島が熱
い。未だ島を訪れたこ
のない人は、「あんなに
たくさんの方が行った
ところ」を口ずかす。

うけていくつかなるも
恩師は実に有り難い。
「ほんと？」以外の娘
で、思わぬ活躍をしてい
る同窓生を知るものこ
支部報の楽しみだ。以前
に寄稿のあった同窓生の

尾崎聡子
高槻市土土室二丁目一七〇四
TEL〇七二六九五七七六
FAX〇七二六九五七七六

お洒落にセンスなくラッピングで:
暮らしやお仕事に活かしてみませんか
・企業セミナー・グループ講習・研修
・イベント・ディスプレイ・ラッピングなど

株式会社教育研究所
五ツ木模擬テスト・セミナー教研
代表取締役社長 尾崎 進
TEL(〇七五)五六二一九二(代)

〒652-0800 神戸市兵庫区塚本通七丁目一十四
電話(〇七八)五七八一五三三五
FAX(〇七八)五七七一一三三八

税理士
花野正悦
(高十九回生)

吉井敏恭事務所
(高十九回生)
〒677-0016 兵庫県西脇市高田井町五九六番地の一
電話〇七九五)三三二四八〇
FAX〇七九五)三三三三二二

土地家屋調査士・行政書士

淡路島觀光連盟理事

平松 忠

(高八回生)

〒655-4013 神戸市垂水区福田三丁目三番十五号
電話 〇七八一七〇九一八二二七番

高十七回生 山本和雄
トラベルプラザインタナショナル関西
電話〇六―六二五一―九〇三一
高二四回生 高濱壮文

北川 映子 花野 正悦
近野 高史

高十五回生 北浦重吉
JTBトラベランド明石店
電話〇七八―九一八一―二一四

編集委員 中須賀充彦 坂東 洋治
薄木 昌信 岩井 吉人
田中 種義 近藤 申一

高十五回生 佐藤正文
JTBトラベランド弁天町店
電話〇六―六五八二―一九九〇

「創立八十周年特集号」を発行することが出来たこと、深く感謝申し上げます。多岐に渡る寄稿で、窓生の心を繋ぎ、母校の発展に寄与する。是非、皆様の自由な寄稿が同楽しみだ。

JTBトラベランド千里中央店
電話〇六一六八三四―一八五六

高十三回生 **五熊 詔一**

JTBトラベランド三木サティ店

折しもこの機に恩師、元輩諸姉兄、皆様の寄附・賛助広告等のご協力を得て、支部報5号「母

迎える現在、機が熟し、津名高卒業生の活躍が社会や家庭で表面化してきたのだ。益々これからが

電話 〇六六二三二一〇八番
FAX 〇六六二三二一〇番

なのだらう。八十周年を

弁護士 藤木 啓彰
(高二十七回生)

支那の楽しみだ。以前に寄稿のあった同窓生の各々が、後日、新聞や本やテレビ等で紹介されてるのをよく目にする。大

活かに料理 津 駈

○志筑店(カヲノ広場)坂田知三(高二十四回)
電話 ○七九九一六二一〇六一

○洲本店(県病前坂)田洋三(高二十九回)
電話 ○七九九一三二一七八

「ほんと？」と以外な飢で、思わぬ活躍をしている同窓生を知るのもこの

高機市上土室二丁目二丁一七〇四
尾崎聡子
FTAE 〇七六(九五)七七二六

の顔が浮かた。出来事、
ピュアであった若い自分
も蘇る。今なお、ボンと
後押しをしてくださるよ
うで、いくつになっても

お洒落にセフスなラッピング：
暮らしやお仕事に活かしてみませんか
企業セミナー・講習・研修
イベントディスプレイ・ラッピングなど

ラッピング工房OZ

(社)全日本ギフト用品協会認定講師

編集後記

間から、授業での恩師のあの口調や表情や温もりが見事に蘇る。そして友が顔を浮かべ、出来事や今、茨路島が華やかなりし頃を思い出す。

五ツ木模擬テスト・セミナー教研
代表取締役社長 尾崎 進
TEL(〇七五)五六二一九二二(代)

照男先生を囲んで
民謡の集い」開催、参
加75名、講話「僅か一年」
を追懐する
（先生創作）など老若里
女が輪で踊り楽しみ往時
を追懐する
坂東洋治（高六回生）

電話(〇七八)五七八一五三三
FAX(〇七八)五七七一二三一八

株式会社教育研究所

薄木昌信
申込をう！
平成十一年七月二十四
日(土) 於 神戸国際会

税理士
花野正悦
(高十九回生)

平松 忠

申込先
FAX
〇六六三六五―八二四一
ウズベキスタン

は留学で修得した体育学
の実践と研鑽による。フ
キー「本間先生」「佐渡
おけさ」との合縁機縁を

〒677-0016 兵庫県西脇市高田井町五九六番地の一
電話〇七九五)三一二四八〇
FAX(〇七九五)三一二七二

内(地)留学)ご高令ながら
社会教育に貢献できるの

土地家屋調査士・行政書士
吉井敏恭事務所